

令和 7 年度 さいたま市立春野中学校 第 1 回 学校運営協議会



さいたま市立春野中学校
令和 7 年 6 月 2 4 日(火)

様式第5号(表)

学校運営協議会委員推薦書

令和7年 5月28日

さいたま市教育委員会教育長 様

学校名 さいたま市立春野中学校

校長氏名 永谷 和俊

さいたま市学校運営協議会規則第9条第1項の規定により、次のとおり推薦します。

学校運営協議会名		春野中学校 学校運営協議会		
氏 名(ふりがな)		性別	該当 番号	推薦理由(該当号数及び役職等)
1	坂口 正明(さかぐち まさあき)	男	1	春岡地区社会福祉協議会会長 春岡地区民生委員児童委員協議会長
2	西澤 亨夫(にしざわ みちお)	男	1	春岡地区自治会連合会会長 アーバンみらい東大宮 東2番街自治会長
3	樋口 修三(ひぐち しゅうぞう)	男	1	春野中学校避難所運営委員顧問 さいたま市見沼区民生委員児童委員
4	合谷 竜一(ごうや りゅういち)	男	1	青少年育成市民会議春岡地区会副会長
5	中吉 由貴(なかよし ゆき)	女	1	青少年育成市民会議春岡地区会副会長
6	下妻 祥子(しもつま よしこ)	女	1	さいたま市見沼区民生委員児童委員協議会 主任児童委員(春岡地区)
7	小林 明子(こばやし あきこ)	女	1	元本校PTA会長
8	佐々木 郷美(ささき さとみ)	女	2	本校PTA副会長 さいたま市議会議員
9	佐藤 成美(さとう なるみ)	女	2	本校PTA副会長
10	三船 毅明(みふね たけあき)	男	6	芝浦工業大学 大宮キャンパス長
11	風間 翔(かざま しょう)	男	6	(株)エナジード 開発推進Div. MGR 兼 教育カ スタマーサクセス部長
12	西尾 真治(にしお しんじ)	男	6	三菱USARIサーチ&コンサルティング株式会社 地域政策部主任研究員 コンセンサス・デザイン 室長
13	永谷 和俊(ながたに かずとし)	男	4	さいたま市立春野中学校 校長
14	井上 隆一郎(いのうえ りゅういちろう)	男	3	さいたま市立春野中学校 学校地域連携コーディネーター
15	紺頼 麻子(こんらい あさこ)	女	5	さいたま市立春野中学校 教頭
	森尻 庸介(もりじり ようすけ)	男	5	さいたま市立春野中学校 教務主任

※5中吉 の(吉)は(吉)

さいたま市立春野中学校 第1回 学校運営協議会

日時：令和7年6月24日（火）

10:00～11:40

場所：春野中学校特別活動室

司会：学校地域連携コーディネーター

次 第

- 1 開会の言葉（教頭）
- 2 校長あいさつ
- 3 委嘱状（任命書）の交付
- 4 委員自己紹介

※校内視察

- 5 委員長選出
・選出後、委員長からご挨拶をいただきます

- 6 年間行事予定

- 7 学校運営に関する基本的な方針等の説明

- 8 熟議
「子どもたちがワクワクする学びの場」に向けた学校・保護者・地域等の具体的な支援方法について
※熟議について（校長）

- 9 閉会宣言（委員長）

- 10 事務連絡
・第2回の日程 令和7年12月 2日（火）10:00～12:00
・第3回の日程 令和8年 2月17日（火）10:00～12:00

学校運営協議会委員となる 皆様へ

～「地域とともにある学校」の実現を目指して～

■ 学校運営協議会とは

- ・ 学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関です。
- ・ 学校運営の改善及び児童生徒の健全育成を目的としています。
- ・ 学校運営協議会は、年3回開催します。

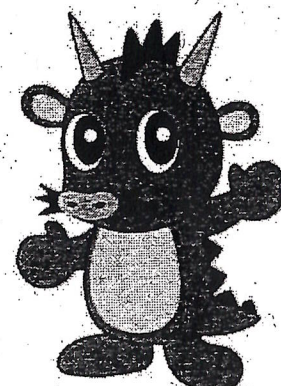
■ 委員の役割とは

委員の皆さんは、学校運営協議会に出席し、以下の内容に取り組みます。

1. 校長が作成した学校運営に関する基本的な方針を承認する。
2. 学校の運営全般等について、教育委員会又は校長に対して、意見を申し出ることができる。
3. 年3回の協議会に参加し、「地域の子どもたちに身に付けさせたい力」や「学校・家庭・地域それぞれ何ができるか」について協議し、実践する。
4. 学校運営に関する学校の自己評価に対して評価を行う。

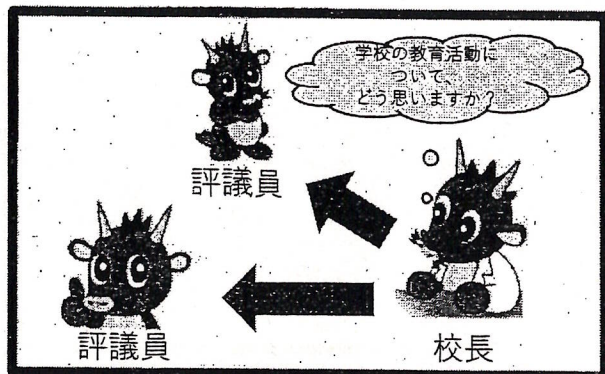
- ・ 学校運営協議会は、学校評議員連絡会や学校関係者評価委員会を発展させた組織です。
- ・ 学校運営協議会とスクールサポートネットワーク（地域学校協働本部）は、それぞれが持つ役割を十分に機能させることで、一体となって相乗効果を発揮し、児童生徒の健全育成に結び付けることが期待できます。
- ・ 委員は、校長の推薦に基づき、教育委員会が委嘱又は任命します。
- ・ 委員は、地方公務員の特別職となり、年3回を限度に日額3,000円の報酬が支払われます。
(本市に属する常勤及び非常勤職員は支給の対象外です。)
- ・ さいたま市学校運営協議会規則に基づいて、守秘義務が求められます。

キーワードは「熟議」と「協働」！
地域総掛かりで
子どもたちをはぐくみましょう！



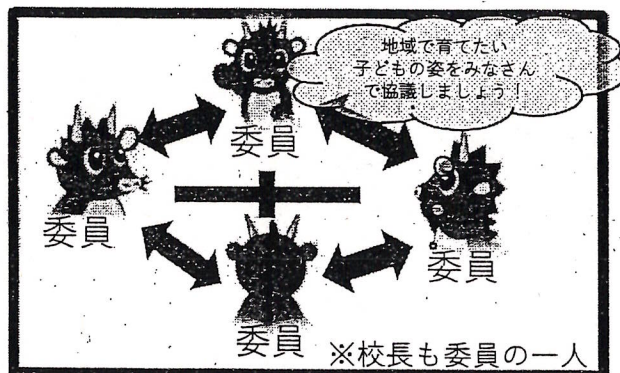
学校評議員と学校運営協議会の違い

「地域に開かれた学校」を目指した
学校評議員制度（H15 設置）



学校評議員は、校長の求めに応じて、学校の教育活動について個人として意見を述べることができる。

「地域とともにある学校」を目指す
学校運営協議会制度（R4全校設置）

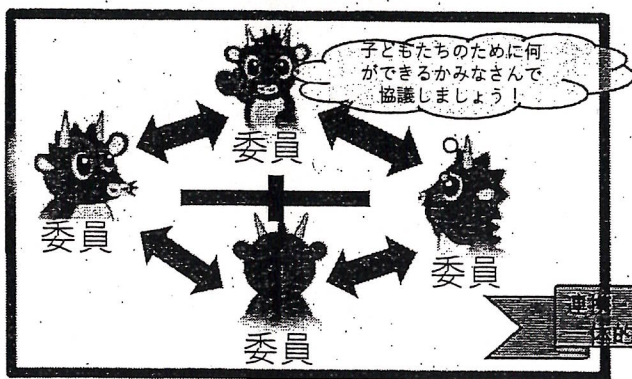


学校運営協議会委員は、学校運営や必要な支援について協議し、一定の権限と責任を持って合議体として意見を述べるができる。

コミュニティ・スクールとスクールサポートネットワークの一体的推進

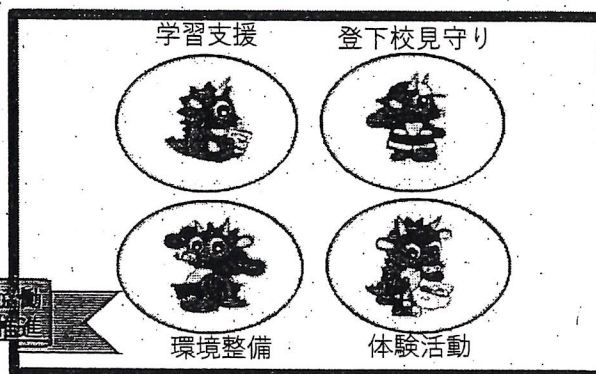
学校・家庭・地域が目標を共有する

学校運営協議会



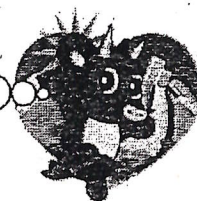
地域と学校が連携・協働して行う

地域学校協働活動



学校運営協議会で協議された目的やビジョンをスクールサポートネットワーク協議会等で情報共有し、地域学校協働活動に反映することで、学校運営協議会とスクールサポートネットワークの一体的推進を実現できます。

今ある仕組みや組織を効果的・効率的に生かしながら、地域とともにある学校づくりや課題解決に向けた取組を推進していきましょう。



令和7年度春野中学校 学校経営方針

<学校経営に向けて最上位目標>

「学校は社会の中でよりよく生きていける」ようになるための場所

1 学校教育目標

「自他共愛」～ 明るく 豊かに たくましく ～

2 学校教育目標のねらい

○「自他共愛」について

- 「自他共愛（じたきょうあい）」（自分自身も、他の人も、お互いに大切に生きていこう）
- (1) 自己肯定感：自分を大切にし、自分の価値を認め、自分に対して前向きな評価をしよう
- (2) 共愛の心：他者を理解し、愛し、尊重する心を育て、共に多様性を大切にしよう
- 「明るく 豊かに たくましく」について

学校教育目標		「自他共愛」～ 明るく 豊かに たくましく ～						
(1) 自己肯定感		自分を大切にし、価値を認め、前向きな評価をしよう						
(2) 共愛の心		他者を理解し、愛し、尊重する心を育て、共に多様性を大切にしよう						
プレゼンカ・伝える力	自己肯定感	笑顔とあいさつ	知識と技能	共愛の心・他者理解	基本的な生活習慣	主体的な態度	自立・自律（じりつ）	レジリエンス（精神的回復力）
前向き（ポジティブ）思考	明るく	前向き行動（プロアクティブな態度）	心理的安全性の構築	豊かに	良好な人間関係	チャレンジ精神・実行力	たくましく	実行力（粘り強さ・継続）
コミュニケーション力	相互承認	ユーモアセンス	問題発見力・情報収集力	比較・分析・判断力	課題解決力	感情のコントロール	行動のコントロール	地域貢献・ボランティア精神

明るく	豊かに	たくましく
(1) 自己肯定感 自分自身を肯定することで、自身をもち、前向きな気持ちを持つことができます。 (2) プレゼンカ・伝える力 情報やアイデアを効果的に伝えることで共感を呼び、明るいコミュニケーションを促進します。 (3) 笑顔とあいさつ 笑顔とあいさつは、人との良好な関係を強化します。 (4) 前向き（ポジティブ）思考 困難に対しても積極的に取り組む姿勢が、明るい雰囲気を作ります。 (5) 前向き行動（プロアクティブな態度） 積極的な行動と態度が、周囲に明るさをもたらします。 (6) コミュニケーション力 効果的なコミュニケーションが、円滑な人間関係を築き、明るい環境を作ります。 (7) 相互承認 お互いの存在や努力を認め合うことが、協力的で明るい雰囲気を生み出します。 (8) ユーモアセンス 笑いや楽しさをつくることで、緊張をほぐし、明るい雰囲気を作り出します。	(1) 共愛の心・他者理解 他者への理解と共感を深めることで、共愛の心が養われます。 (2) 知識と技能 幅広い知識やスキルの習得を通じて、考え方が豊かになります。 (3) 基本的な生活習慣 健康的な生活習慣を確立できると、心身のバランスが取れ余裕が生まれます。 (4) 心理的安全性の構築 安全で安心な学びの環境を構築することで、心理的な安定が図られます。 (5) 良好な人間関係 コミュニケーション能力を向上させることで、良好な人間関係が築かれます。 (6) 問題発見力・情報収集力 問題の発見と情報収集の力を養い、問題解決力が高まります。 (7) 比較・分析・判断力 適切な判断力を育成することで、判断力が深まります。 (8) 課題解決力 創造的な課題解決能力を養成し、実践力が向上します。	(1) 自立・自律（じりつ） 自分で考え、行動し、責任を持つこと、そして他者に適切に依存できることで、たくましく成長します。 (2) 主体的な態度 自分から進んで行動する姿勢を身につけることで、自信を持って行動できます。 (3) レジリエンス（精神的回復力） 回復する力を高めることで、困難や逆境に立ち向かえます。 (4) チャレンジ精神・実行力 新しいことに挑戦する意欲を持つことで、困難にも前向きに取り組むことができます。 (5) 実行力（粘り強さ・継続） 持続的に努力し、粘り強く取り組む力を身につけることで、成果を出すことができます。 (6) 感情のコントロール 自分の感情を適切に管理し、冷静に対応する力を身につけることで、ストレスに対処できます。 (7) 行動のコントロール 自己管理能力を高め、計画的に行動する力を養うことで、目標を達成しやすくなります。 (8) 地域貢献・ボランティア精神 地域社会に貢献し、他者のために行動する心を持つことで、社会とのつながりが深まります。

3 目指す学校像

- (1) 生徒、保護者、地域の方々から信頼され、安全・安心な学校
- (2) 生徒が学ぶ喜びを味わい、生きる喜びを実感する教育活動を展開する学校

4 目指す生徒像

高い自己肯定感をもち、夢や目標に向かって他者と共に成長と自律を追求する生徒

5 学校経営方針

- (1) 学びの質の向上
「ワクワクする学びの場」を展開し、「自律した学習者」の育成
- (2) 子どもの発達や心のサポートの取組に関する取組
「自己肯定感」「共愛の心」の育成と心理的安全性の確保
- (3) 地域とともにある学校づくりに関する取組
生徒の目指した地域貢献・ボランティア精神の醸成と「地域・家庭・PTA」との連携強化
- (4) 教育環境の整備に関する取組
充実した教育環境の構築と安全対策の強化
- (5) 教職員のキャリア形成に関する取組
「先生が生き生き」と輝ける研修体制づくり

6 重点目標

- (1) **「ワクワクする学びの場」を展開し、「自律した学習者」の育成**

(1-①) 自律した学習者の育成

これまでの「一斉指導」の成果と課題を明確に捉え、「自律した学習者の育成」を目指して、これまで行ってきた「自由進度学習」（「個別最適な学び」「協働的な学び」）をさらに研究し、進めていく。知識・技能においては、「理解」で終わらずに「定着」を重視し、思考・判断・表現においては、「デザイン思考」（問題発見・課題設定・情報収集・課題解決）を意識した授業づくりを推進していく。

(1-②) 「分かった・できた」を実感する生徒の育成

生徒の発信（プレゼン力）や事後の振り返りにさらに着目し、生徒の学びを深める。また、学習状況調査、定期テスト、各種アンケート等を丁寧に分析し、学習評価及び学びの質の向上を図る。

(2) 「自己肯定感」「共愛の心」の育成と心理的安全性の確保

(2-①) 「自己肯定感」の向上と「共愛の心」の育成

生徒の「自己肯定感」を「共愛の心」を高める取組を積極的に行っていく。生徒の「自立・自律（じりつ）」を促し、「合意形成させる力」を育み、問題解決能力を伸ばし、多様性を受け入れて協力できるようにする。そのために、「エナジード」的思考の育成、ファシリテーターの育成、「合意形成」を意識した「校則見直し検討委員会」、生徒会・専門委員会等の充実を図る。

(2-②) 生徒の望ましい居場所（安全基地・サードプレイス）づくり。

すべて生徒に安心感のある学級づくり、各種委員会、部活動等の運営を目指し、人間性を育むための望ましい居場所づくりと心理的安全性を確保する。登校や教室に入るのに不安がある生徒には、関係機関との連携やSola る一むを通して、生徒の様々な居場所を検討していく。そのために、「誰一人取り残さない」教育相談、生徒指導、Sola る一む運営の充実を図る。

(3) 生徒の地域貢献・ボランティア精神の醸成と「地域・家庭・PTA」との連携強化

(3-①) 地域との連携

春野中生が、この地域を大切な「ふるさと」として実感できる生徒を育成していく。そのために、地域との連携、ボランティア活動の充実、地域貢献意識の向上を目指して連携を図る。そのために、ボランティア等に関わる担当を増やし、地域行事への参加者募集から参加までの流れや周知を明確にし、より参加しやすい環境づくりを構築する。

(3-②) 家庭・PTAとの連携強化

家庭と学校が信頼関係のもと、生徒に適切な学びの場を提供できるよう、学校からの情報発信や家庭との連携をさらに図る。そのために、PTAとの連携は不可欠であり、子どもの絶対的安全基地である家庭環境や孤立化した保護者を出さないよう、支援できる体制づくりを構築する。学校からも給食試食会や特別講座等、学校行事以外の提案を行う。

(4) 充実した教育環境の構築と安全対策の強化

(4-①) 充実した教育環境

子どもがより効果的に学習できるよう、環境面と活動面を整える。環境面では、協働的な学びが実施しやすいような机・椅子やホワイトボード等を計画的に整備する。活動面では、机の配置や特別教室等の有効利用を検討することで、より有効的な教育環境を実現できるよう研究と工夫を行う。

(4-②) 安全対策の強化

これまでの環境整備、安全点検、避難訓練等では対応できない事案も増えてきていることを踏まえ、定例の安全対策の見直し、常に最悪を想定した安全対策を検討する。これにより、安全対策の強化を図る。

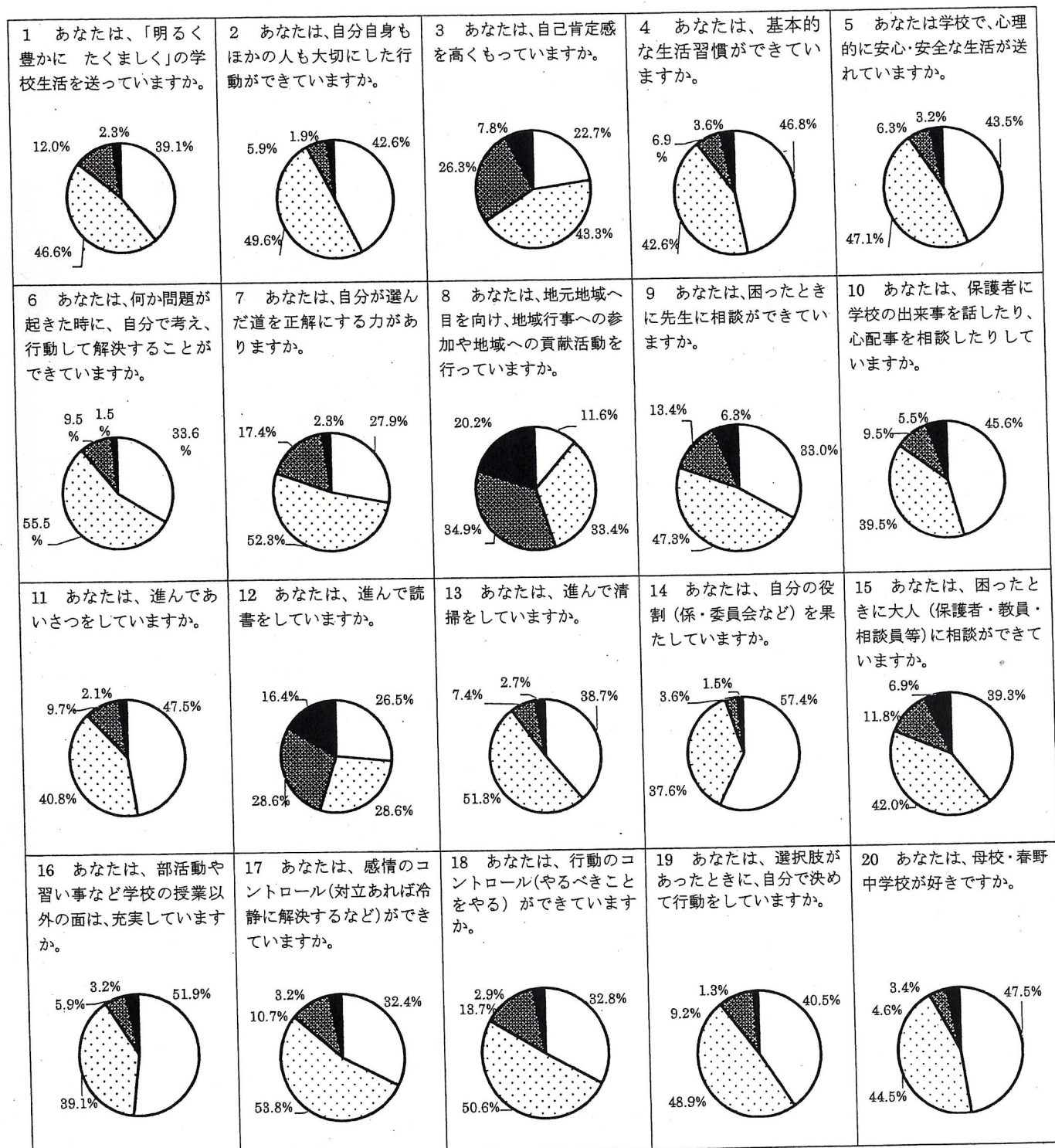
(5) 「先生が生き生き」と輝ける研修体制づくり

(5-①) 校内研修の充実

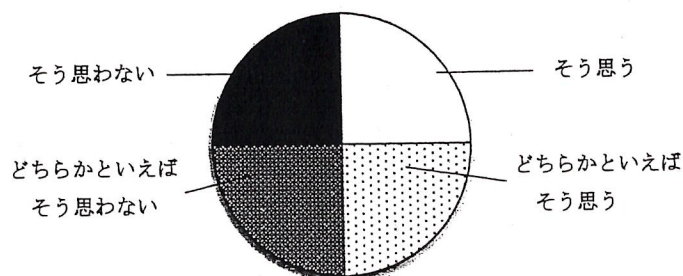
今年度も「ハルノ スマート ライフデイ」を実施し、教職員の研修の時間を意図的に設け、業務改善を進めながらも校内研修の充実を図る。校内研修では研修の楽しさを味わいながら、授業改善や今日的な課題に即した研修を行い、教職員のスキルアップと学校全体の授業の質の向上を図る。また、教職員同士のコミュニケーションを深めることも目的とする。

(5-②) キャリア段階における自主研修の充実

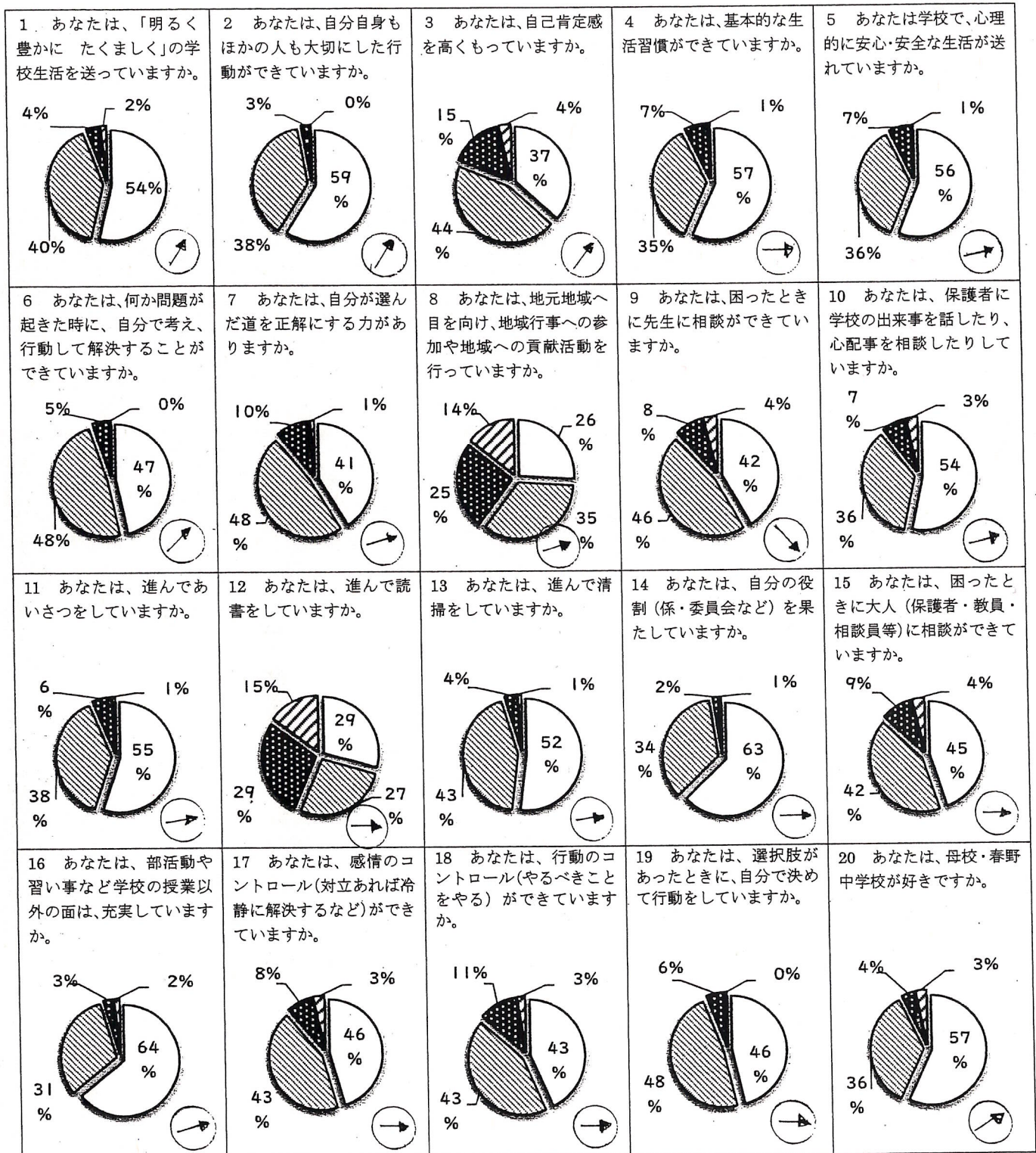
教職員のキャリア段階に応じた研修を推進するとともに、自主的な研修への参加も推進する。授業改善に限らず、様々な能面で分野で広く研修を行い、知識や経験を豊かにすることを推奨する。管理職は、定期的に各教職員の目標やねらいを共有し、ともに成果を共有できるような関わりをもつ。



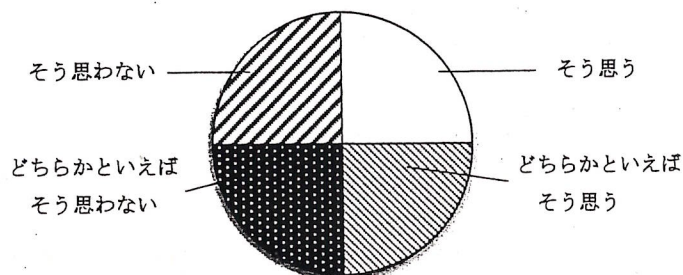
アンケートの見方



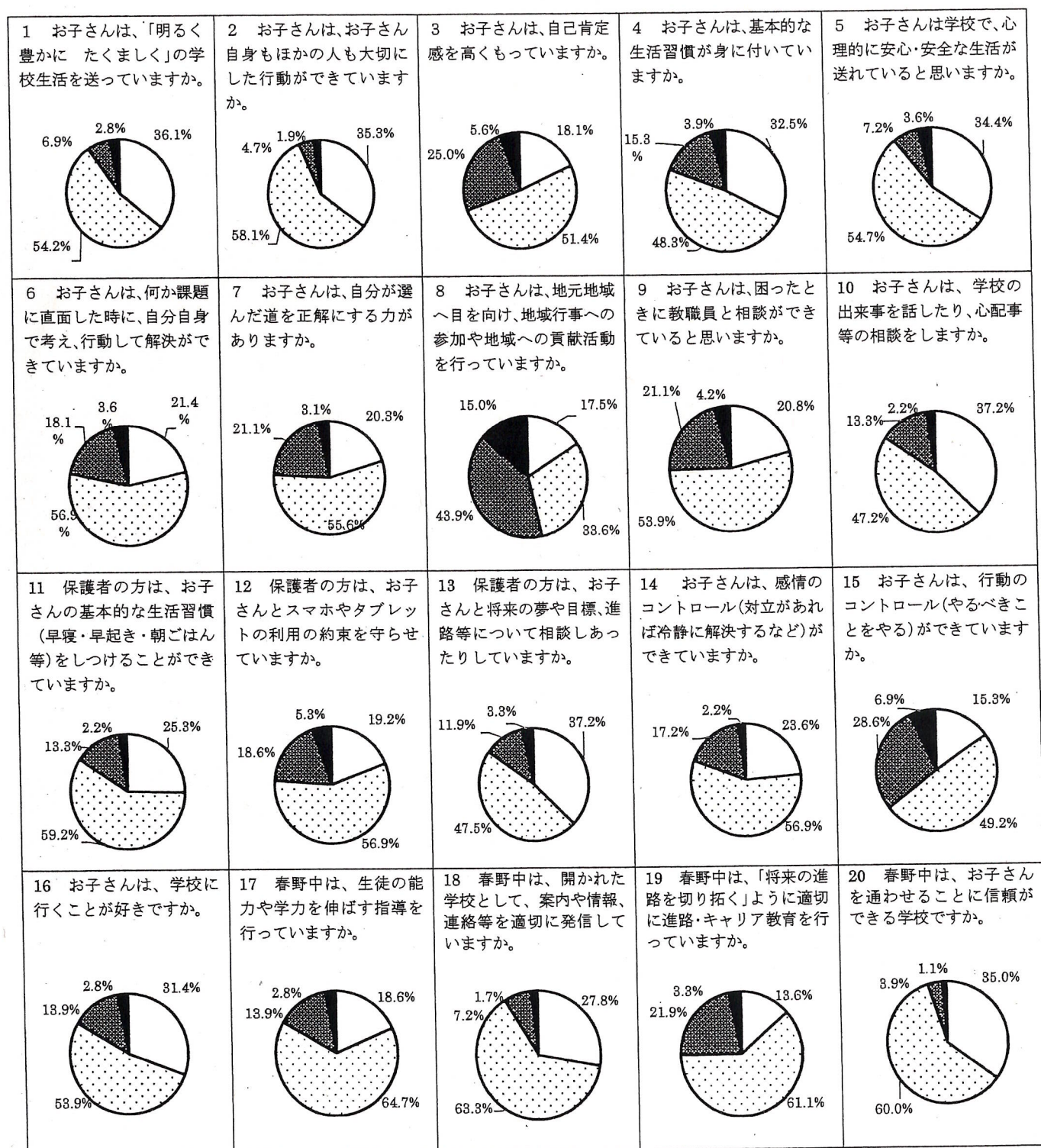
令和6年度 学校アンケート（生徒）の集計結果



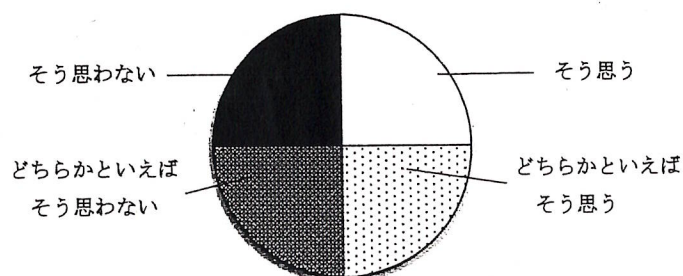
アンケートの見方



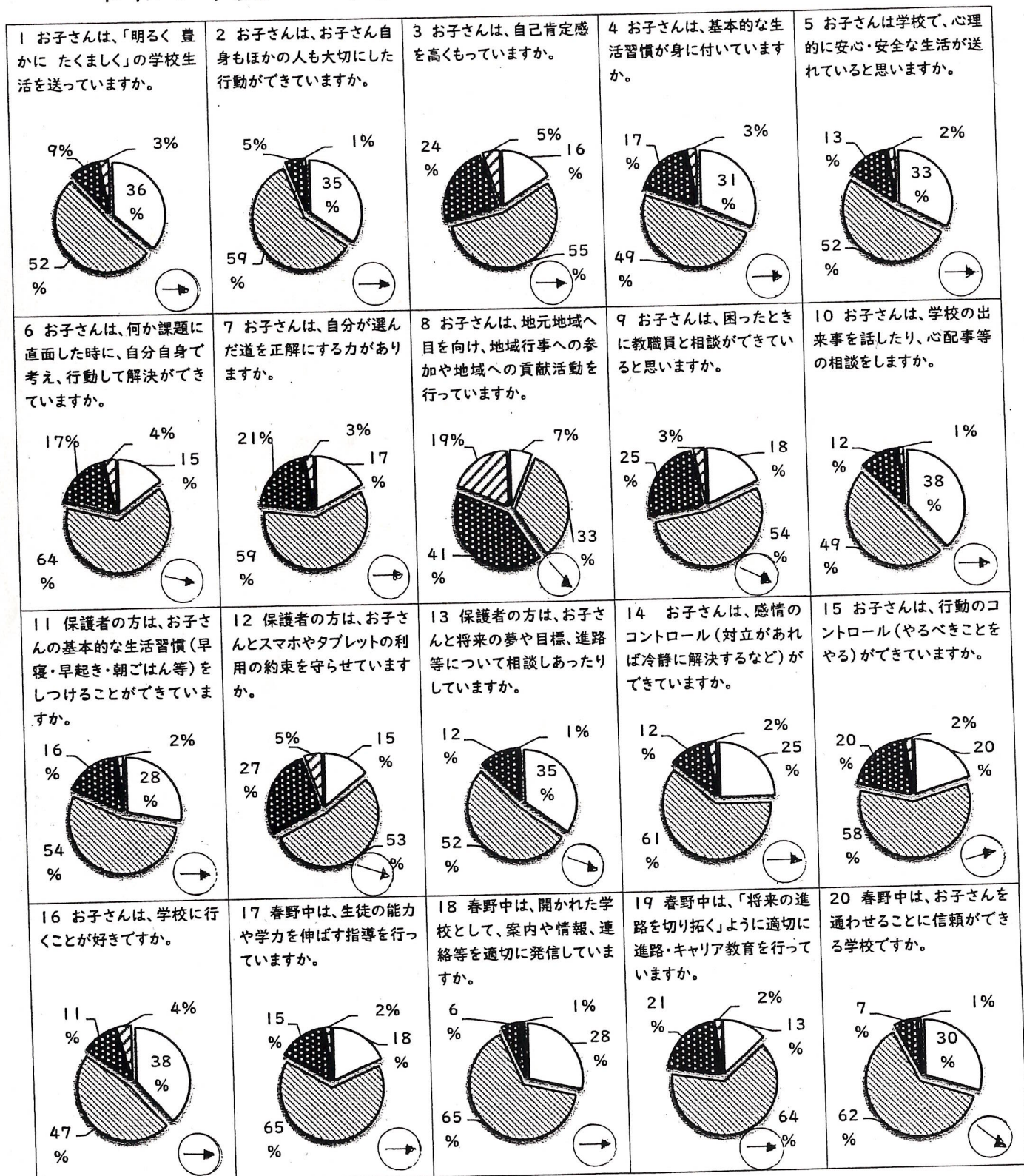
令和5年度 学校アンケート（保護者）の集計結果



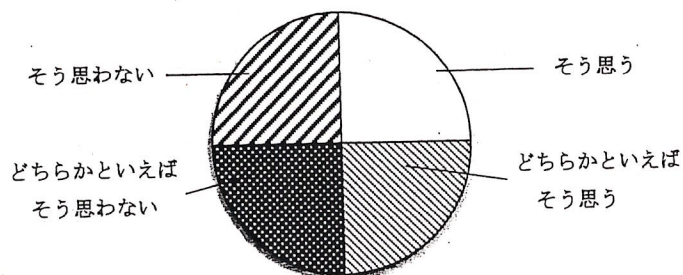
アンケートの見方



令和6年度 学校アンケート（保護者）の集計結果



アンケートの見方



令和6年度学校評価について

今年度、ご協力いただきました学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。毎年2学期に学校アンケート（保護者）、学校アンケート（生徒）を実施させていただいております。令和5年度から令和6年度の経年変化を見ますと特に顕著に変化が見られた2点についてご紹介したいと思います。

1点目は、学校アンケートの項目4「自己肯定感を高くもっていますか」の質問項目について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」との肯定的な回答が前年度より、14.3%上昇しました。

2点目は、学校アンケートの項目8「地元地域へ目を向け、地域行事への参加や地域への貢献活動を行っていますか」の質問項目について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」との肯定的な回答が前年度より、16%上昇しました。

今年度の学校経営の方針でお示しさせていただいておりますが、重点目標としております、(2)「生徒の自立・自律」では、生徒の自己肯定感を醸成し、自分で考え、動く力を育成する、と(4)「生徒が地域の形成者」では、春野中生がこの地域を大切なふるさとと実感していく生徒を育成する、の2点につきましては、これまでも学校運営協議会で熟議させていただきました。熟議した際のご意見を元に、学校としてこの2点に重点を置き、今年度の教育活動に取り組んでまいりました。

具体的には、「芝浦工業大学との連携」、「エナジードとの連携」、「ファシリテーション会議との連携」、「地域行事への参加等」、「ハルノスマートライフデイ」、「HCLMeeting」などの取組があります。

具体的な地域行事への参加として、「育成会主催のウォークラリーボランティア」、「春光園除草ボランティア・春」、「避難所運営訓練」、「春岡地区大運動会放送ボランティア」、「春光園除草ボランティア・秋」、「春野小はるのまつりボランティア」、「プライムキッズガーデン 赤ちゃん幼児ふれあい体験」、「春野小学校・音楽朝礼」、「はるおかふれあいフェスティバルボランティア」、「春岡地区レッツジョインクリーン活動ボランティア」があり、多くの生徒が参加させていただきました。

多くの地域の方々、保護者の方々と関わり、生徒と触れ合っていたことで、地域行事への参加を通して、地域へ貢献することの大切さを学ぶことができたと思います。そして、大人から地域人材として、中学生が地域の皆さんから必要とされることで生徒の自己肯定感も高まり、地域行事へ参加する生徒も増加してきているのだと考えます。

他の質問項目も含めて、学校評価アンケートの結果を踏まえて、教育活動の改善とさらなる充実に向けて取り組んでまいります。令和6年度も大変お世話になりました。引き続き、令和7年度も春野中学校をどうぞよろしくお願いいたします。

さいたま市立春野中学校

学校教育目標	「自己共愛」～明るく豊かにたくましく～
目指す学校像	(1) 生徒・保護者、地域の方から信頼され、安全・安心な学校 (2) 生徒が学ぶ喜びを味わい、生きる喜びを表現する教育活動を展開する学校

重点目標	
1	「ワクワクする学びの場」を展開し、「自律した学習者」の育成
2	「自己肯定感」「共愛の心」の育成と心理的安全性の確保
3	生徒の目指した地域貢献・ボランティア精神の醸成と「地域・家庭・P・T・A」との連携強化
4	充実した教育環境の構築と安全対策の強化
5	「先生が生きていき」と輝ける研修体制づくり

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的な方策、方策の評価指標」を設定。

	年	度	学 目	校 標	自 己	評 価	年度評価状況	年度・項目別評価結果	学校運営協議会による評価
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	出席率	学年・学期等	本年度への課題と改善案	実施日令和年月日	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、ほぼ全国平均であり市平均よりはやや低い。 ○「知識・技能」前では二極化がある。また、整理してまとめる活動では意欲的な生徒が多い。(課題) ○「知識・技能」よりも、「思考・判断・表現」の項目に苦手意識をもつ生徒が多く、生徒の学習意識、知識の活用意識の向上が必要である。 ○教職員も、基礎・基本の徹底に意識をもちすぎると、一斉授業やティーチング過多の授業に偏る傾向になり、「思考・判断・表現」を抑えず意識改革が必要である。	①分かった・できた」を実感する授業の実践 自律した学習者の育成	①「期間」で終わらずに「定着」、「問題発見、解決力」を意識した学びを提供し、生徒個々の解決力を高められる。 ②授業終了時に振り返り時間の確保。各組学習ツール(スツラブ等)の活用問題発見、解決力を意識した授業づくり。「個別最適」「協働的な学び」の充実。 ③生徒の発信力(プレゼン力)や事後の振り返りに着目し、自分の考えを伝える力の強化。	①市学習状況調査5科合計において、昨年度の市平均との差の改善 ①「学びの指標」教職員平均及び「主体的」の項目が、1回目より2回目が0.1ポイント以上向上。 ②学びの指標「主観的」な学び(R6 3.15)」探索的な学び(R6 3.15)」よりも向上かつ、1回目より2回目の向上。	出席率	学年・学期等	本年度への課題と改善案	令和6年度	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
2	(現状) ○自己共愛（自分自身も他の人もお互いに大切にしたいという生きがい）の意識があり、いじめや暴力等大きな問題はほとんどない。 ○どの学校にもあるよう、一定数の不登校や教室に入れない生徒はいる。(課題) ○いじめの構造の「防衛者」のように、他者への関心や思いやりとそれにつながる行動がさらにあるように。 ○トラブルが起きると、事実を確認せずに解任で落ち込んだり、不安になることも多く、人間関係トトラブルの解決能力が不足している。	「自己肯定感」の向上と「共愛の心」の育成	①生徒の「自己肯定感」と「共愛の心」を高める取組。絶えす上位目標に入れた教育活動の実現。 ②「エナジー」的思考及びファシリテーターの育成。「合意形成」を意識した集団作りや規則見直し検討委員会等の実施。 ③道徳・生徒指導・人権教育の充実、心理的安全性の確保された集団や授業環境の模索。人権意識の向上。 ④教育相談や支援体制及びSolaの一歩進みの充実	①生徒学校評価「自己肯定感(R6:A81% A37%)」「共愛の心(A97%A59%)」項目の向上 ②HCLM(校則見直し検討委員会)の実施及び見直し項目の施行					
3	(現状) ○中学生は学習や部活動などで忙しくなり、保護者・生徒ともに地域との関わりが少なくなる。 ○PTAの組織は小さくなったが、各行事で協力力を募集し充実した活動が行われている。(課題) ○中学生的な地域貢献の意識を伸ばすと同時に、持続可能な地域づくりができるよう、問題発見・解決能力の育成が必要。 ○保護者と学校の信頼関係の希薄化。教職員・保護者とともに生徒を育てていく意識向上	地域との連携	①中学校運営協議会等で、学校と地域間で役割分担を共有し、それぞれの立場で協力しよう。 ②中学生的な地域貢献の意識を高めて学習課程の設定、ボランティア参加の啓発 ③PTA行事の充実。学校公開の充実やPTA主催の保護者対象の行時間開催など、保護者の学校への関心を高める。また、学校からの情報発信にも努める。	①生徒学校評価「心理的安全性(R6:A89%A56%)」の向上 ②不登校生人数の減少					
4	(現状) ○開校24周年を迎え、施設の不都合はないが、老朽化や故障等の備品、機器が増えた。 ○晴雨、雷雨、不測有事、生徒の危機管理に関わる事象が増加している。(課題) ○現状にあった教育環境の整備により快適に過ごせる学習環境を整備が必要。 ○生徒側が安全や危険回避への意識向上と自律した命を守る行動ができる生徒の育成	充実した教育環境 安全対策の強化	①生徒が動易な学び（協働的な学び等）がよりでききるような環境整備。 ②安全点検による危険箇所や修繕箇所等の速やかな対応 ③これまでの環境整備、安全点検、避難訓練等では対応できない事業を踏まえ、定期的安全対策の見直し、常に最悪を想定した安全対策を検討。 ④毎回の訓練等に経路等の確認に加え、各自の危険回避意識の向上を図る指導	①PTAポランディア参加数増加(R6:A89%A58%) ②保護者・学校の情報発信項目の上昇(R6:A89%A58%)					
5	(現状) ○よりよい授業を提供したい意識が高いが、日々業務から研修へ向かう余裕が足りていない。 ○以前と比較して参加しなくてはならない必修研修が減り、研修等、自主性に任せられた環境になリつつあふ。(課題) ○心に訴えるだけでなく、時間が確保できるように、業務改善や研修時間の確保が必要。 ○研修意欲による症で、教職員の授業力や他の力量等がますます広がっている。	校内研修の充実	①これまでの研修に加え、さらに研修機会を設けて研修時間の確保、全体・個人・個別の研修を設定し、意図的に実践を実施。	①校内研修充実率：90%以上の肯定回答 ②簡易ストレス診断「支援的健康リスク」90%以下 ③教職員アンケート下目的な研修に積極的に参加R6(A8:77%A:35%)一各P以上向上					

学びの質の向上に
関する取組

子どもの発達や
心のサポートに関する

地域とつながりある
学校づくりに関する取組

教育環境の整備に 関する取組

教職員のキャリア形成
に関する取組

目 指 す 学 校 像

○生徒、保護者、地域の方々から信頼され、安全・安心な学校
○生徒が学ぶ喜びを味わい、生きる喜びを実感する教育活動を展開する学校

- 1 「自由進歩学習（個別最適な学び・主体的対話的で深い学び）」への挑戦。授業改善・授業改革。
- 2 「全生徒・教職員がWell-beingな学校づくり」。生徒・教職員の心理的安全性の確保。
- 3 「生徒が地域の形成者」。春野中生徒が大切な故郷となるような生徒づくりと地域づくり
- 4 「わくわくくすくす喜びの場」を目指した「環境づくり」「場面づくり」「自己研鑽」。

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

[illegible]

学校における働き方改革に関する 緊急対策等について

文 部 科 学 省

学校における働き方改革に関する緊急対策【概要】（平成29年12月26日 文部科学省）

- 平成29年12月22日に中央教育審議会において「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（中間まとめ）」がまとめられた。
- 「中間まとめ」において示された具体的な方策を踏まえ、文部科学省が実施する内容を緊急対策としてとりまとめた。

1. 業務の役割分担・適正化を着実に実行するための方策

（1）業務の役割分担・適正化を進めるための取組

- 「中間まとめ」において示された、代表的な業務の在り方に関しての考え方を踏まえ、学校や教師・事務職員等の標準職務を明確化し、各教育委員会の学校管理規則に適切に位置づけられるようモデル案を作成・提示する。
- 全国の教育委員会・学校で業務改善の取組を進めることができるように、優良事例を収集・周知する。
- 民間団体等からの出展依頼や配布物等について、学校の負担軽減に向けた協力の周知を実施する。
- 文部科学省内に、教職員の業務量を俯瞰し、一元的に管理する組織を整備するとともに、学校に関する業務を所管する部署は、新たな業務を付加するような制度改正等を行う際には、当該組織と前広に調整することを基本とする。
- コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等を通じた学校教育の質の向上等を進める。

等

【参考】

これまで学校・教師が担ってきた代表的な業務の在り方に関する考え方（「中間まとめ」より抜粋）

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
①登下校に関する対応 ②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応 ③学校徴収金の徴収・管理 ④地域ボランティアとの連絡調整 ※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。	⑤調査・統計等への回答等（事務職員等） ⑥児童生徒の休み時間における対応（輪番、地域ボランティア等） ⑦校内清掃（輪番、地域ボランティア等） ⑧部活動（部活動指導員等） 部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。	⑨給食時の対応（学級担任と栄養教諭等との連携等） ⑩授業準備（補助的業務へのサポートスタッフの参画等） ⑪学習評価や成績処理（補助的業務へのサポートスタッフの参画等） ⑫学校行事の準備・運営（事務職員等との連携、一部外部委託等） ⑬進路指導（事務職員や外部人材との連携・協力等） ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応（専門スタッフとの連携・協力等）

令和7年度
第1回学校運営協議会

さいたま市立春野中学校
令和7年6月24日(火)

本日のおしながき

- 1 昨・今年度の春野中について
- 2 R7学校経営方針について
- 3 熟議について

1 昨・今年度春野中について

「校長Diary」をご覧ください
 ○校長が認めた者としてお伝えいたしますので、
 情報の取り扱いにはご注意ください。
 ○場所：「春野中学校ホームページ」
 → 「校長室より」
 ○ユーザー名・パスワード ともに
 「 ha3951 」です。



1 学校評価について

●別紙参照

2 PTAとの連携

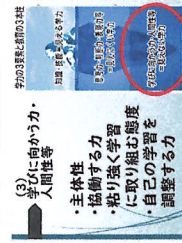
- ・体育祭合唱祭等受付自転車置き場
- ・落ち葉履き

7月20日(土)
見沼区PTA親善
ふらばーるバレー大会



8月30日(土)
校長による特別講座

- ・校長から・エナジードから・模擬授業



10月25日(金)
PTA活動 花苗植え



2月3日(月) 子ども応援カフェ(給食試食会)

「事実」「解釈」「行動」そして楽しい試食会



2 育成会との連携

- ・ 青少年育成
さいたま市民会議
春岡地区会

6月2日(日) ウォークラリー

- ・ 育成会主催のウォークラリーボランティア
- ・ 春野中からは6名が参加



6月1日(日)春 岡地区大運動会

- ・ 放送ボランティア



令和7年6月1日(日) ウォークラリー



- 育成会主催のウォークラリー・ボランティア
- 春野中からは4名が参加



3 社協との連携 ・春岡地区社会福祉協議会

6月8日(土) 春光園除草ボランティア・春



- 女子テニス部
- 一般生徒
- 合計30名参加



10月12日(土) 春光園除草 ボランティア：秋 男子テニス部 有志





11月17日(日) はるのかふれあいフェスティバル



11月9日(土) 春光園けやき けやき祭



4 芝浦工業大学 との連携

・土曜チャレンジスタッフ

・→今後もコラボ予定
ゼロカーボン

芝浦工業大学との連携

- ・令和6年4月16日(火) 芝浦工業大学ご挨拶
- ・春野中 学校運営協議会 委員依頼
- ・大宮祭(学園祭) 吹奏楽部視察・美術部出品
- ・春野道場(土チャレ) 学生ボランティア
- ・大宮祭(学園祭) 打ち合わせ
- ・12月12日(木) 学生6名学校見学
- ・12月21日(土) 春野中のための体験授業会
- ・→令和7年度の学園祭で吹奏楽部の参加

12月12日(水)

芝浦工業大学・学生の視察

- 学生6名と担当教授で来校 視察と協議を実施



12月21日(土)

芝浦工業大学・特別体験授業

- 生徒9名参加。DNA・ゲノムの観察



令和7年5月18日(日)

大宮祭(学園祭)にて吹奏楽部

- 吹奏楽部17名が見事な演奏!



6 ファシリでの連携

- ・さいたま市高校生
ファシリテーター会議

ファシリテーション会議との連携

- 令和5年度 高校生ファシリテーション・校長生徒会生徒2名、教職員1名参加 校長見学
- 令和6年度 こども若者ファシリテーション・校則検討委員会
- HCLM

12月10日(火)HCLM・開幕 春野中生みんなが快適に生活するために ～Haruno Comfortable Life～



子ども若者ファシリテーション クラブ (本校生徒2名、職員1名参加)



2月25日(火)HCLM拡大会議 春野中生みんなが快適に生活するために ～Haruno Comfortable Life～



7 エナジードとの連携

・令和6年度から導入

エナジード社との連携

- 令和6年度 新1・2年生教材契約
- 本校学校運営協議会委員依頼・任命
- 5月30日(木) 校内研修
- オンラインによる打ち合わせ
- 8月31日(土) 特別講座・製品紹介
- 10月15日(火) エナジード・エナジェリスト秋
- 11月29日(金) エナ先進校視察・浦安市立美浜中
- 12月16日(月) 探究先進校視察・市川市立東国分中
- 12月21日(土) エナジード・サミット 参観
- 3月 5日(水) 校長・エナジード社長懇談
- 3月 7日(金) 導入検討校視察受け入れ



エナジード 実施



11月29日(金)

エナジード先進校視察

- 浦安市立美浜中学校 本校4名で視察
- 指示されて動くのではなく、自主性。自ら行う清掃活動。秋いっぱい自分の感想が書ける思考力と表現力が参考になりました。【「育った生徒の姿」「教職員の指示の出し方」】



12月16日(月)

探究学習先進校視察

- ・市川市立東国分中学校 本校3名で視察

→探究的な学びを実践。「探究的な社会」を「探究的な総合的な学習の時間」を視察。学ぶ範囲が示されたら、ひとすべら各自で学びを進めています。先生は分からないことを聞かれ、利用されているような感じでした。【探究革命】



10月15日(火)

エナジード・エバンジェリスト秋



12月21日(土)

エナジード・サミット

問題発見力・課題解決力・プレゼン力を目の当たりに...



3月7日(金)

エナジード授業視察の受け入れ

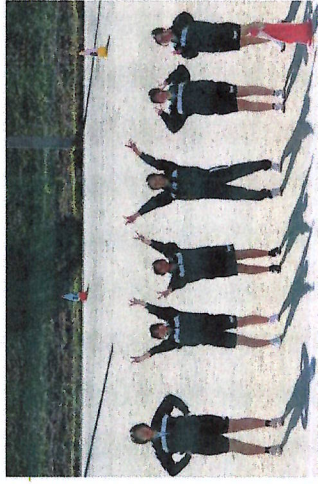
春野中の実践が他校の参考に！



3月5日(水)
エナジード社長との意見交換



7 他にも様々な連携



6月22日(土)
避難所運営訓練

- ボランティアとして2名が
申し込みと参加



7月20日(土)
アーバン夏祭り



11月2日(土)
春野小 はるのまつりボランティア



11月5日～ プライムキッズガーデン
「赤ちゃん幼児ふれあい体験」



11月11日(月)
春野小学校・音楽朝礼



春野道場・土曜チャレンジスクール

- 次年以降の教育実習生
- 芝浦工業大学・学生



2 学校経営方針について

今年度 教職員へ示した 学校経営方針の スライドです

令和7年度 学校経営方針に向けて

さいたま市立春野中学校
令和7年4月3日現在

1 学校経営方針について

1 令和6年度 学校教育目標

(1) 明るく (知育)	(2) 豊かに (徳育)	(3) たくましく (体育)
はぐくみたい学力 (知育)	はぐくみたい情操 (徳育)	はぐくみたい体力 (体育)
① 知識・技能	① 自己肯定感	① 健康の自己管理
② 思考力・判断力・表現力等	② 相互承認	② 体力や気力
③ 主体的に学習に取り組む態度	③ 美的・心情的感性	③ 創造性・チャレンジ精神

1 学校経営方針について

2 教育理念

- 「自他共愛 (じたきょうあい)」
 - 自分自身も、他の人も、お互いに大切にしながら生きていこう
 - 「自己肯定感」と「他者理解」から「相互承認」

令和6年度香川県立香川高等学校に併せて「進路」をテーマに「学校は社会の中でよりよく生きていく」ようにするための場所									
自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）
自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）
自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）
自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）
自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）
自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）
自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）
自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）
自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）	自己学習の促進 （自己学習の促進）

生徒の課題

▼トラブルが起こったときの解決する力が弱い。自分で解決を試みたり、適度に他者に頼ったりすることなどせず、周囲からの解決や自然解決を期待し、解決されないと人のせいにする傾向がある。

1 学校経営方針について

学校教育目標

＜学校経営に向けて最上位目標＞

「学校は社会の中でよりよく生きていく」ようになるための場所

・社会の縮図 勉強だけではなく人との関わり方も学ぶ場（→進路決まったのでもう行きません）

生徒の課題

▼学習もよく頑張っているが、理解しても定着していない生徒も多く、自走する学習者や粘り強さ等、いわゆる自律面の育成に課題がある。

「自他共愛」

他者を理解し、愛し、大切にすることを育
て、共に多様性を大切にしよう

(1) 自己肯定感

自分を大切にし、価値を認め、前向きな評価
をしよう

(2) 共愛の心

他者を理解し、愛し、(尊重する心を育て)
大切にすることを育て、共に多様性を尊重しよう

1 学校経営方針について

明るく

プレゼンカ 伝える力	自己肯定感	笑顔と あいさつ
前向き (ホ ジティブ) 思考	明るく	前向き行動 (プロアクテ イブな態度)
コミュニケ ーション力	相互承認	ユーモア センス

1 学校経営方針について

豊かに

知識と技能	共愛の心・ 他者理解	基本的な 生活習慣
心理的・安全 性の構築	豊かに	良好な 人間関係
問題発見力・ 情報収集力	比較・分析 ・判断力	課題解決力

1 学校経営方針について

たくましく

主体的 な態度	自立・自律 (じりつ)	レジリエ ンス (精神的 回復力)
チャレンジ 精神 ・実行力	たくましく	実行力 (粘り強さ ・継続)
感情のコント ロール	行動のコント ロール	地域貢献・ ボランティア 精神

教育相談(委員会)では

- 誰一人取り残すことのない教育
- 学級に入れない生徒への適切な支援
- 学級に入れている生徒への早期発見と適切な支援
- 生徒、保護者に寄り添った教育相談
- 校内教育支援センター (Solaルーム) の支援体制の充実

生徒指導では

- 集団の秩序、規律づくり
- 生き生きとした生徒づくり
- 自立・自律 (じりつ) した生徒の育成
- HCLMを通した生徒の自治活動

校内研究

- 「変化に対応できる力」
- 問題を発見できる生徒
- 課題を解決できる生徒
- 表現できる生徒の育成

学年・学級経営では

- 生徒のワクワクする学びの場
- 集団での達成感、成就感、所属意識

授業では

- これらを授業の中で養っていただきたい

教育相談（委員会）では

アビリティ の 活用	基礎と 応用 の 活用	知識と技能 の 活用	共感の心 の 活用	基本的な 生活習慣 の 活用	主体的な 態度 の 活用	自己・自己 の 活用	メンタル の 活用
傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用
傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用
傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用	傾聴 の 活用

そのために授業では

- 考える機会をたくさん取り入れていただきたい
→わかったか（知識）から、それでどう考える？どう思う？（思考）
 - 自分の考えを書かせる活動を充実させてください
→思考の流れを見える化
 - 振り返る時間を確保してください
→45分授業への挑戦と振り返りの充実
- 探究的な学びを充実させてください

探究的な学びの充実を目指して

- 0 前提として
- 1 問題に気付く力
- 2 解決する課題を設定する力
- 3 課題解決に必要な情報を集める力
- 4 情報を正しく分析できる力
- 5 解決策を考える力
- 6 解決に向けて実行できる力
- 7 解決策や自分の考えを他者に伝える力
- 8 コミュニケーション力 問題解決能力の育成
→変化に対応できる力

探究的な学びの充実を目指して

0 前提として

- ・互いに肯定しあう温かい雰囲気
- ・ファシリテーターの育成

12月10日(火)HCLM・開幕
春野中生みんなが快適に生活するために
～Haruno Comfortable Life～



グループワークをする時の 3つのルール

ポジティブフィードバック
ポジティブな反応
「いいね!」「面白いね!」

アクティブリスニング
あいづちを打つ
「うんうん」「なるほど～」

オーバーコミュニケーション
反応は大げさに
「めっちゃいい!」「すごい面白い!」

そのために生徒の活動では

- ・委員会、部活動等 活動に目的をもたせてく
ださい
- 行動の指示より何のたけに行うのか
- 課題は？ そのために そしてどうなるの

そうすると、生徒は周りの人に対して

- ・温かく、寛容な気持ちと態度
- ・失敗を許せる雰囲気
- ・何を話しても大丈夫という心理的安全性の確保

そのために先生方は

- ・自己肯定感 ・ポジティブ思考
- ・変化に対応できる力
- ・研修（研究と修養）
「豊かな人間性と社会性」
「強い使命感和教育への情熱」
「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた
常に学び続ける教師（さいたま市が求める教師像）

そのために先生方は生徒に

- ・自己肯定感 の育成
- ・ポジティブ思考 の育成
- ・変化に対応できる力 の育成

そのために先生方は生徒に 控えていただきたいこと

- ・怒鳴る指導 威圧する指導
 - 怒られなければならないや
 - 怒られるからやめよう
- 威圧をし続ける先にあるものは？
- ・怒鳴っても構わない指導は
 - 命に関わること 人権に関わること
 - 法に関わること

そのために先生方は生徒に お願いしたいこと

- ・導く指導
 - 安易な指示・指導 はしない
 - ゴールを示して やり方は考えさせる
 - 一旦はすべてを受け入れて、そういう考え方もあ
 - るんだ。でもね。こういう考え方もあるよね。
- ・合意形成の意識
- 同調圧力に注意
- ・生徒の意欲・やる気の育成

そのために管理職は

- ・心理的安全性の確保
 - 職員室で不快になる言葉遣い、悪口等はない。
 - ポジティブ発言 →ポジティブ思考
- ・自らも学び、挑戦する姿勢
 - 今年こそ100km完走（昨年の71kmは越えたい）

そうすると春野中は

生徒・保護者・先生方が春野中でよかったと自
信をもって誇れる学校に！

まとめ

- ・今年は成果を求めていきましよう
→成果を出すためには実態の確認
- ・いろいろなタイプの先生がいることで、生徒の支援に深みが増します。自分の、特性、得意、役割を見極めて生き生きと業務を行ってください
- ・一年間よろしく願っています

3 熟議について

熟議題：

「子どもたちがワクワクする学び場」
に向けた、学校・保護者・PTA・地域等の具体的な支援方法について